

RPC-M5CSファームウェアバージョンアップ

1.00Rの説明, バージョンアップ方法

明京電機株式会社

1.4版(2022/7作成)

弊社リブーターWATCH BOOT light [RPC-M5CS]を平素ご利用いただき,誠にありがとうございます。
(以下, RPC-M5CSを「本装置」と記述)

制御メール送信後, 比較的短間隔で制御を実行するため, 「メールチェック間隔」を最短30秒に設定可能なファームウェア1.00Rを導入するための手順書です。

《変数の差異》

■ファームウェア1.00Fと比較して, 次の変数の仕様が変更されています。

mailCheckInterval

メール受信間隔(単位を「秒」に変更。30秒～3600秒に設定可能。)

(1.00D, 1.00Eでは1分～60秒での設定)

またこちらのファームウェアでは, 1.00Eで発見された「シャットダウンスクリプトの『パスワード』設定が, CPUリセットもしくは本体主電源の再投入によって変更されてしまう」不具合も修正されています。

1. バージョンアップ方法

「ローカルファイルバージョンアップ」の方法で行います。

注記 「ローカルファイルバージョンアップ」実行時、通信環境によってはエラー(21)や(27)が表示され、失敗することがあるようです。その場合は、
・PCと本装置をスイッチングハブ経由で接続する
・通信速度を100Mbps半二重に固定する
のいずれかの方法で実行してください。

【準備物】

・本説明書と同梱されていたvupファイル

★運用途中でこのバージョンアップを行う場合、

事前にSAVEコマンドを実行して、設定値を保存し、
下記の手順でバージョンアップ完了後、保存した設定値を書き込むようにしてください。
(下記手順内に「初期化」が含まれているため)

■SAVEコマンドの実行方法、設定値の書込に関しては
本装置の詳細取扱説明書をご覧ください。

- 1) 「システム情報」をクリックし、「システム基本」にて[ファームウェア更新]をクリックします。



- 2) 「バージョンアップ方法の選択」の「ローカルファイルの選択」にて[ファイル選択]をクリックします。

ファームウェアバージョンアップ

バージョンアップ方法の選択

バージョン	1.00D.190820
モデル名	RPC-M5CS

オンライン自動アップデート

ローカルファイルの選択

- 3) [ファイルを選択]にてvupファイルを指定し、その後[送信]をクリックします。(2分程度かかりますが、そのままお待ちください。)

ファームウェアバージョンアップ

バージョンアップ用ファイルの送信

選択されていません

※バージョンアップ用ファイルを選択し、[送信]ボタンを押してください。
その後、実行結果画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

- 4) 下記の画面が表示されれば成功です。[初期画面へ]をクリックします。

ファームウェアバージョンアップ

バージョンアップ結果

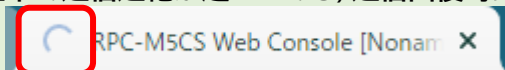
Error = 0

※バージョンアップが正常に終了しました。初期画面へ戻ることが出来ます。
最新のファームウェアに移行するために、初期画面からCPUリセットを実行するか、再起動をしてください。

★「Error=0」にならず、「(21)」や「(27)」が表示された場合、次の接続方法のいずれかにして再度実行してみてください。

- ・PCと本装置をスイッチングハブ経由で接続する
- ・通信速度を100Mbps半二重に固定する

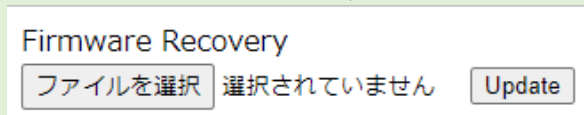
★書込途中で通信途絶が起こっても、通信回復時に「データ再送」が行われる仕様となっています。



↑Webブラウザにて「待機中」になっている間はそのままお待ちください。

★このときに本装置のRESETボタンを押さないようにしてください。通信途絶/回復の頻度とタイミングによっては、RESETボタンを押すとお客様の手元での再書き込みが不可能な状態になってしまうおそれがあります。(不可能状態に陥った場合、弊社カスタマーサポートにご連絡ください。)

無事に「データ再送」が行われた場合、次の画面が表示されます。

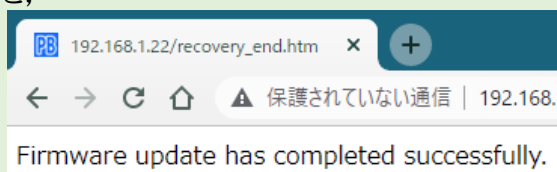


一度アクシデントで中断が生じたため、再度「ファイル選択」して「Update」ボタンを押して、バージョンアップを再度実行することになります。

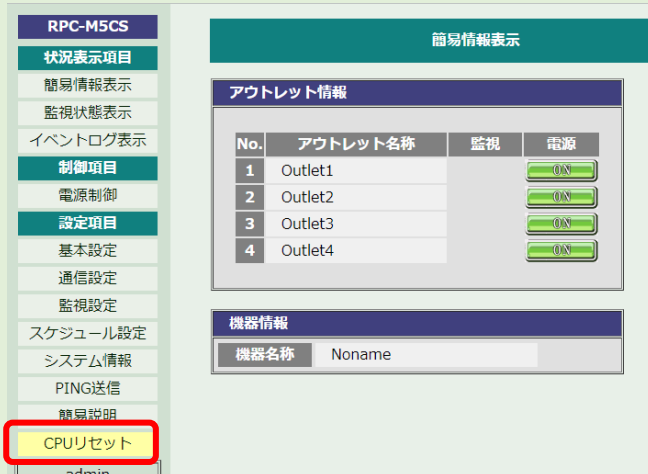
↓Webブラウザにて「待機中」になっている間はそのままお待ちください。



成功すると、

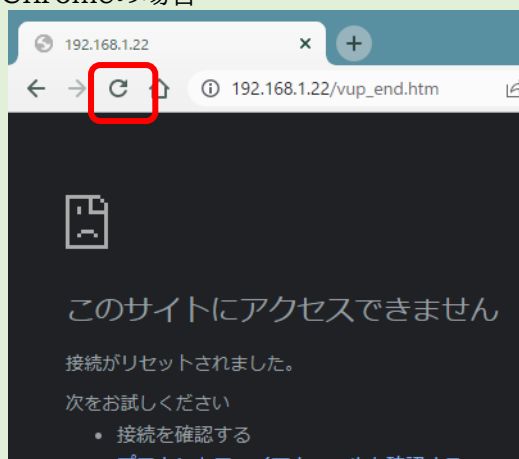


と表示されます。この後、リブーターのIPアドレスにアクセスし、「CPUリセット」を実行すれば使用できます。



もし通信途絶の時間が長く、WEBブラウザからHTTPリクエストが途絶えた場合、通信回復時には次のような画面が表示されます。(表示される画面はWEBブラウザの種類によって異なります。)

例)Chromeの場合



★このときに本装置のRESETボタンを押さないようにしてください。通信途絶/回復の頻度とタイミングによっては、RESETボタンを押すとお客様の手元での再書き込みが不可能な状態になってしまうおそれがあります。(不可能状態に陥った場合、弊社カスタマーサポートにご連絡ください。)

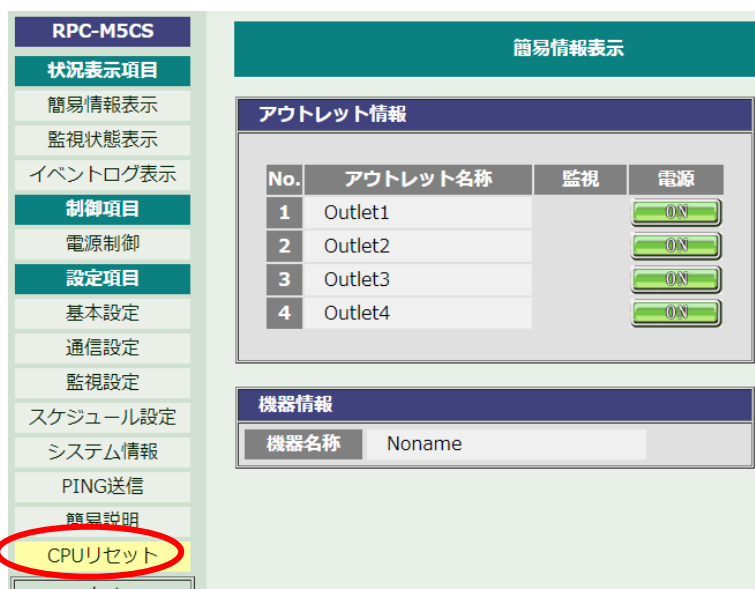
↑この画面になっても「再読み込み」ボタンをクリックする(その後、[続行]やそれに類するボタンをクリックする)ことで、バージョンアップデータの再送が行えます。



←再送中はこのような状態になります。

この後、「Firmware Recovery」画面になりますので、先述の手順で行ってください。

5) 「CPUリセット」が黄色表示されています。クリックしてCPUリセットを実行してください。



- 6) その後、「初期化」を行う必要があります。
(設定値を元の状態に戻す必要がある場合、事前にSAVEコマンドを実行して、
設定値を保存しておいてください。)

■初期化手順■

- a) 本体電源コードをコンセントから抜きます。
- b) 本体前面のDIPスイッチ1と3のみON(下)にします。
- c) 電源コードをコンセントに接続し、電源を供給します。
- d) 本体前面のLINK LEDが5秒間点灯します。点灯中に本体前面のRESETスイッチを1秒程度、押します。
- e) 初期化が成功するとLINK LEDとACT LEDが点灯します。
→成功したなら、アクティベートする必要があります。
DIP.SW3のみONの状態、RESETスイッチを押し、
「ご確認のお願い」画面にて注意事項をご確認の上、同意してください。
その後の画面で、必要に応じて通信関連の設定を行ってください。

- 7) DIP.SWを全てOFFにしてRESETスイッチを押し、運用モードに切り替えてご使用ください。
(保存しておいた設定値に戻す必要がある場合は、この後、設定値を反映させてください。)

2. 確認, 設定

[システム情報]をクリックし、「バージョン」が「1.00R.220721/HTMLCS.220328」となっていることを確認してください。

システム情報

システム基本

機器名称	Noname
バージョン	1.00R.220721/HTMLCS.220328
モデル名	RPC-M5CS
アウトレット数	4
アウトレット1名称	Outlet1
アウトレット2名称	Outlet2
アウトレット3名称	Outlet3
アウトレット4名称	Outlet4

[通信設定]-[メール設定]画面。「メールチェック間隔(秒)」になっています。

メール設定

メールサーバ設定

ユーザー名	
パスワード	
メールアドレス	
受信サーバ名	
受信ポート	110
送信サーバ名	
送信ポート	25
自動ログアウト時間(分)	10
メールチェック間隔(秒)	30
メールリトライ間隔(秒)	10

以上

明京電機株式会社